

事務事業評価調書

事務事業名	防犯体制整備事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	大阪府安全なまちづくり条例、オウム真理教対策関係市区町連絡会規約													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	防犯体制の整備を進め、市民が安心して安全に暮らすことができるように努める												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	犯罪の抑止および減少、安心安全のまちづくりの実現													
(7)	事業概要	地域安全運動(春・秋の年2回)や歳末特別警戒活動、街頭犯罪防止キャンペーン(毎月1回)など吹田市全域の防犯力の向上を図るための取り組みを吹田防犯協議会・吹田警察署・市の3者で連携しながら推進している。また、大阪府警本部や公安調査局とも連携しながら情報共有や防犯体制の整備を図っている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	26	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,778	3,889	875	800	846							
		人件費	職員数	人	0.10	0.30	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	2,385	836	836	817						
		総事業費(A+B)		4,608	6,274	1,711	1,636	1,663							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		市負担(D)		4,608	6,273	1,711	1,636	1,663							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,608	6,273	1,711	1,636	1,663								
財源計(C+D)		4,608	6,273	1,711	1,636	1,663									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	オウム真理教対策関係市区町連絡会												
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 啓発活動への参加回数 (H27年度は街頭犯罪防止キャンペーンが 2回雨天等で中止)	目標値	(単位:回)	15.00	13.00	15.00
			実績値	(単位:回)	13.00	10.00	
			達成度(%)		86.7	76.9	
	目標値 の積算 方法	地域安全運動(年2回)、歳末特別警戒活動 (年1回)、街頭犯罪防止キャンペーン(毎 月)などへの参加回数	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		482.62	163.60
				一般財源(単位:千円)		482.62	163.60
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法			単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標		①	指標内容 吹田市内の刑法犯罪の年間(1月から12 月)認知件数の減少数	目標値	(単位:件)	30.00	30.00
	実績値			(単位:件)	411.00	22.00	
	達成度(%)			1,370.0	73.3		
	目標値 の積算 方法	前年度を基準に認知件数を毎年30件ずつ 減少させる。H25(3, 872件)、H26(3, 4 61件)	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		15.27	74.36
				一般財源(単位:千円)		15.27	74.36
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値 の積算 方法			単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) 困難な場合	①	活動内容	各種の防犯対策に対して満足していると感じる市民の割合が60点以上になることを目標とする。			目標	54.7点(平成26年度吹田市市民意識調査報告書)
	②	成果内容	犯罪が少ないなど、治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上になることを目標とする。			達成状況	42.8%(平成26年度吹田市市民意識調査報告書)
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		刑法犯罪の年間認知件数は減少傾向にあるが、女性・子ども・高齢者を狙った犯罪が後を絶たないことから、引き続き吹田警察署や吹田防犯協議会と連携し、他の防犯施策と効果的に事業を進め、安心安全のまちづくりに努める必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防犯体制整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00001				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00001
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度の吹田市市民意識調査報告書での防犯対策の重要度は78.8点と高く、市民一人ひとりが安心して暮らせる安全なまちを実現するため、警察、地域と連携しながら、市民の防犯意識を醸成し満足度を高めていく取組みを進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度に平成16年度設置の街頭緊急通報装置(スーパー防犯灯)を記録装置内蔵の防犯カメラに更新した。

事務事業評価調書

事務事業名	地域防犯推進事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	青色防犯パトロール員の体制見直し(4人を3人体制へ)											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	大阪府安全なまちづくり条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	全市域・全市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	防犯意識の高揚、自主防犯活動の促進												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの推進													
(7)	事業概要	<p>市非常勤職員(防犯活動推進員1名、青色防犯パトロール員3名)による地域防犯活動の推進及び地域防犯活動団体に対する支援を行う。</p> <p>(1)防犯講座の開催(安心安全のまちづくり講習会(年6回)、児童防犯講座等) 地域防犯活動団体への支援 (結成支援、助言・指導等、腕章等の支給、安心安全マップ作成支援)</p> <p>(2)市青色防犯パトロール隊による市内全域への巡回活動(週5日、土日祝日を除く) ※不審者・声掛け事案が発生した場合は、当該地域を重点的にパトロール。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	26	大事業	1	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		12,832	12,853	12,997	12,718	13,017							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		13,662	13,648	13,833	13,554	13,834							
		特定財源(C)		49	48	49	49	49							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	49	48	49	49	49							
		市負担(D)		13,613	13,600	13,784	13,505	13,785							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	13,613		13,600	13,784	13,505	13,785									
財源計(C+D)		13,662	13,648	13,833	13,554	13,834									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	防犯講座の開催回数(安心安全のまちづくり講習会及び児童防犯講座等)	目標値	(単位:回)	20.00	20.00	/
			実績値	(単位:回)	26.00	19.00		
		達成度(%)		130.0	95.0			
	目標値の積算方法	年20回を目標(安心安全のまちづくり講習会6回、児童防犯講座8回、その他6回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	524.92	713.37		
				一般財源(単位:千円)	523.08	710.79		
	②	指標内容	安心安全マップ作成件数(各小学校PTA会)	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	
実績値				(単位:校)	27.00	25.00		
達成度(%)			77.1	69.4				
目標値の積算方法		毎年度全小学校でのマップ作成	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	505.48	542.16		
				一般財源(単位:千円)	503.70	540.20		
(2) 成果指標	①	指標内容	吹田市内の街頭犯罪の年間(1月から12月)認知件数の減少数	目標値	(単位:件)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:件)	134.00	45.00		
		達成度(%)		446.7	150.0			
	目標値の積算方法	前年度を基準に認知件数を毎年30件ずつ減少させる。H25(1,966件)H26(1,832件)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	101.85	301.20		
				一般財源(単位:千円)	101.49	300.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	犯罪が少ないなど、治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上になる			達成状況	42.8% (平成26年度吹田市市民意識調査報告書)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		防犯活動については継続した取組が必要であり、本事業は継続して行うべきであるが、地域の活動団体による防犯活動については地域間格差が生じていることから課題であると考え。そういった中、平成28年度以降については、女性・子ども・高齢者を狙った事案が後を絶たないことから、早急に全市域の防犯力を向上させる必要があると考え、今後3年間かけて地域の見守りの目を増やすような施策を実施し、市全域の防犯力の向上を図っていく予定である。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	地域防犯推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00002				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00002
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市青パトによる巡回や啓発あるいは防犯活動推進員による講習会の開催や防犯ボランティアの育成等継続した取組により市民の防犯意識の向上に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	安心安全の都市づくり推進事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	吹田市安心安全の都市(まち)づくり推進計画、大阪府安全なまちづくり条例						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 1	細節 0			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他	範囲等 市民、企業、行政				
		目標(どういう状態にしたいのか)	市民、企業、行政等すべての者が一体となって安心安全のまちづくりを推進する。					
		結果(どのような効果が得られるのか)	市民生活の安心安全に寄与する。					
(7)	事業概要	安心安全の都市(まち)づくり協議会を中心に全体会や市民会議の開催により市及び市内の団体等と一体となった取組を進める。市が事務局を務め、2年に1度市民会議を開催する。(H28年2月に第5回目の市民会議を開催)						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 2	項 1	目 26	大事業 1	中事業 1	小事業 3
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		100	93	959	710	334
		人件費	職員数 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20
			総額(B) 千円	830	795	836	836	1,634
		総事業費(A+B)		930	888	1,795	1,546	1,968
		特定財源(C)		0	0	0	0	239
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	239
		市負担(D)		930	888	1,795	1,546	1,729
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	930		888	1,795	1,546	1,729		
財源計(C+D)		930	888	1,795	1,546	1,968		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	安心安全の都市(まち)づくり協議会						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 市民会議の開催	目標値	(単位:回)	0.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	1.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 隔年実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,546.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	1,546.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	定住意向として、住み続けたいと感じる市民の割合が80%となることを目標とする。			達成状況	57.8% (平成26年度吹田市市民意識調査報告書)
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		安心して安全に暮らせるまちは誰もが望むものであり、今後も市全体での取組が必要であるが、青少年室所管の市民大会との連携も含め、今後のあり方等については検討する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	安心安全の都市づくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00003				

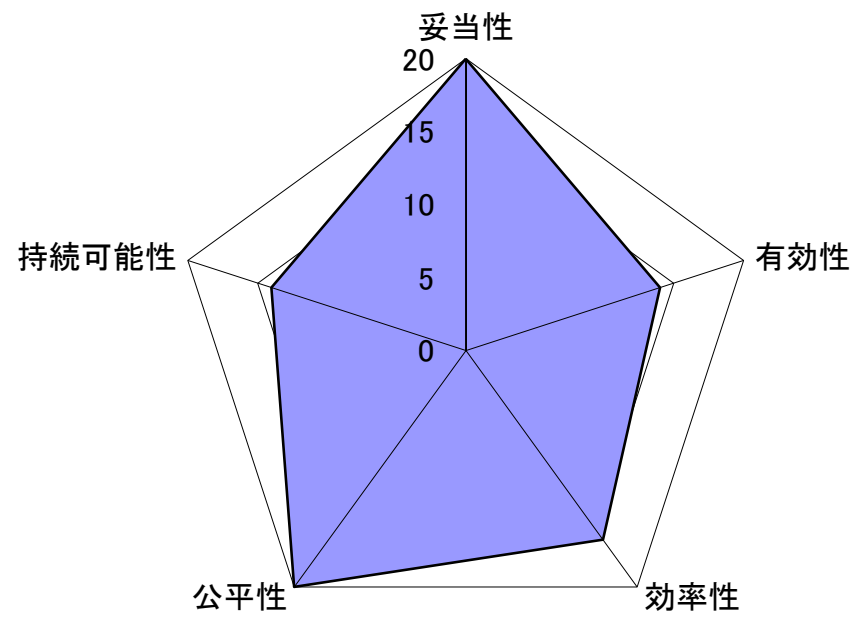
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00003
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内の参画・賛同団体が、「安心して住みよい吹田のまち」の想いに共感し誕生した組織であり、補助事業ではなく、市の直営事業であり、各団体の役員は会議にも無償で参加している。積極的な議論に加えて、2年に一度開催される市民会議など、重要な役割を担っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	青パト燃料支援事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正 内容	吹田市地域青色防犯パトロール活動補助金交付要領における取扱基準を制定し、活動に必要なガソリン等のエンジンオイルのほか任意保険料についても補助対象とした。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	吹田市地域青色防犯パトロール活動補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域青色防犯パトロール団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域での青色防犯パトロール活動の活性化												
(7) 事業概要	地域での青色防犯パトロール活動を行う団体に対して、ガソリンやエンジンオイルなどの燃料代や任意保険料を補助対象として補助金を支給する。平成27年4月現在で11団体が活動。1団体あたり60千円を限度に、申請のあった団体に対して支給。下記活動団体 (1)千三地区(2)南千里地区(5地区)(3)千里新田地区 (4)吹田東地区(5)あずま自治会(吹田東地区)(6)岸部地区(7)南山田地区 (8)東山田地区(9)西山田地区(10)江坂企業協議会 (11)山田下自治会(山一地区)平成27年6月末活動終了 (10)、(11)の2団体からは補助申請なし。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	26	大事業	1	中事業	1	小事業	5
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		600	540	660	540	660							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		1,430	1,335	1,496	1,376	1,477							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		1,430	1,335	1,496	1,376	1,477						
		地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0							
一般財源			1,430	1,335	1,496	1,376	1,477							
財源計(C+D)		1,430	1,335	1,496	1,376	1,477								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	地域青色防犯パトロール団体											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 補助金の申請件数	目標値	(単位:件)	11.00	11.00	10.00	
			実績値	(単位:件)	9.00	9.00		
			達成度(%)		81.8	81.8		
	目標値の積算方法	地域青色防犯パトロール総団体数(吹田市除く)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		148.33	152.89	
				一般財源(単位:千円)		148.33	152.89	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 青色防犯パトロール活動団体の結成促進	目標値	(単位:団体数)	1.00	1.00	1.00	
			実績値	(単位:団体数)	1.00	0.00		
			達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	年1団体の結成を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,335.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		1,335.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	犯罪が少ないなど、治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上となることを目標とする。			達成状況	42.8% (平成26年度吹田市市民意識調査報告書)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		青色防犯灯回転車による地域防犯パトロール活動については、各地域ごとに活動実施方法や活動頻度、運営方法が違い、また、全地域に活動団体が存在していないことから、事業全体の費用対効果を検証することは困難である。しかし、犯罪抑止や地域住民への安心感等のパトロール効果については評価できるものであり、引き続き、より多くの地域での青パト活動導入の促進や継続した活動ができるよう、財政的な支援も含め支援のあり方を検討していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	青パト燃料支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00005				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00005
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域の青色防犯パトロール車は現在まで11団体に導入されており、導入された地域においては、子どもに対する声かけ事案等が減少傾向にあり、今後も継続して支援を行っていく必要がある。 なお、上記11団体のうち1団体については平成27年6月をもって活動を終了した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市防犯活動補助事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市防犯活動事業補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	防犯活動及び防犯に関する啓発活動を行う団体(吹田防犯協議会)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	防犯活動費を補助し、防犯活動の推進・充実を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの実現													
(7)	事業概要	<p>犯罪のない住みよいまちづくりの実現を図るため各種防犯活動及び啓発事業を実施する吹田防犯協議会に対し、予算の範囲内において防犯活動事業補助金を交付する。毎年、防犯協議会、吹田警察署、市の3者で協働し啓発活動等を実施。</p> <p>吹田防犯協議会活動概要</p> <p>(1) 34の地域防犯支部と11の職域防犯から構成</p> <p>(2) 活動内容</p> <p>地域防犯活動及び啓発活動(防犯パトロールのほか、地域安全運動(春秋年2回) 歳末特別警戒活動(年末)、街頭犯罪防止キャンペーン(毎月1回)等を実施)</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	26	大事業	1	中事業	1	小事業	6
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,060	4,060	4,060	4,060	4,060							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		4,890	4,855	4,896	4,896	4,877							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,890	4,855	4,896	4,896	4,877							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,890	4,855	4,896	4,896	4,877								
財源計(C+D)		4,890	4,855	4,896	4,896	4,877									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田防犯協議会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 啓発活動等の実施回数	目標値	(単位:回)	15.00	15.00	/
			実績値	(単位:回)	15.00	13.00	
			達成度(%)		100.0	86.7	
	目標値の積算方法 春、秋の地域安全運動(年2回)、歳末特別警戒(1回)および毎月1回の街頭犯罪防止キャンペーン等の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	323.67	376.62		
			一般財源(単位:千円)	323.67	376.62		
	②	指標内容 補助対象経費に対する補助割合(吹田市防犯活動事業補助金)	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	
実績値			(単位:%)	93.90	95.30		
達成度(%)			93.9	95.3			
目標値の積算方法 補助対象経費については、予算の範囲内ではあるが、満額補助を目標とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	51.70	51.37			
		一般財源(単位:千円)	51.70	51.37			
(2) 成果指標	①	指標内容 吹田市内の刑法犯罪の年間(1月から12月)認知件数の減少数	目標値	(単位:件)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:件)	411.00	22.00	
			達成度(%)		1,370.0	73.3	
	目標値の積算方法 前年度を基準に認知件数を毎年30件ずつ減少させる。H25(3, 872件)、H26(3, 461件)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.81	222.55		
			一般財源(単位:千円)	11.81	222.55		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	犯罪が少ないなど、治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上となることを目標とする。		達成状況	42.8% (平成26年度吹田市市民意識調査報告書)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田防犯協議会は34の防犯支部と11の職域防犯協議会からなる市全域での地域防犯活動及び啓発活動の核となって活動していただいている団体であることから、今後についても継続して活動を補助していく必要があると考える。 なお、市からの補助額については、予算の範囲内としているが、非営利の活動団体であり自主財源の確保が困難なことからも、活動を維持するために引き続き同額程度の補助は必要である。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	吹田市防犯活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00006				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00006
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The '妥当性' (Justification) axis has the highest score at 15. The other four axes ('有効性', '効率性', '公平性', '持続可能性') all have scores of 10. The center of the chart is marked with 0, and the outermost ring is marked with 20. The chart is filled with a light blue color.</p>		
(3)現状分析	<p>市内の防犯活動に特化した団体への活動補助事業で、キャンペーンや講座の開催にと、市民への啓発に尽力いただいている。特に市内全ての地域に防犯委員を配置し、また、その連絡系統も確立されており、犯罪の抑止に関する情報の共有等を行うことができる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	防災情報充実強化事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正 内容	「防災情報メールの配信速度の改善」及び「避難所開設時の防災情報メール文言変更」を実施											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	防災情報充実強化事業に関する協定書、災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	行政、企業、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大阪府及び府内各市町村の防災情報共有体制の充実												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害時における大阪府及び府内各市町村の防災体制の確保や、住民への災害情報の提供の充実													
(7)	事業概要	府下全域を対象に住民への情報発信力の強化と府や市町村などの防災関係機関の情報共有体制の充実を図り、安心安全なまちづくりをめざし、府と市町村の共同事業として防災情報充実強化運営協議会を設置し、防災ポータルサイト、防災情報メールなどの防災システムの「おおさか防災ネット」を運用													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,733	3,702	1,200	1,100	1,139							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		4,563	4,497	2,036	1,936	1,956							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,563	4,497	2,036	1,936	1,956							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,563	4,497	2,036	1,936	1,956								
財源計(C+D)		4,563	4,497	2,036	1,936	1,956									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪府知事										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	防災情報充実強化事業運営協議会出席回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	運営協議会の出席回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,499.00	645.33		
				一般財源(単位:千円)	1,499.00	645.33		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	おおさか防災ネット・メール配信登録者数(吹田市)	目標値	(単位:人)	36,000.00	36,000.00	36,000.00
			実績値	(単位:人)	4,059.00	9,273.00	/	
		達成度(%)		11.3	25.8			
	目標値の積算方法	市民(36万人)の1割の登録を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.11	0.21		
				一般財源(単位:千円)	1.11	0.21		
	②	指標内容	おおさか防災ネット・ポータルサイト閲覧訪問者数(1月から12月)	目標値	(単位:人)	880,000.00	880,000.00	880,000.00
実績値			(単位:人)	731,897.00	486,443.00	/		
達成度(%)		83.2	55.3					
目標値の積算方法		府民(880万人)の1割の閲覧を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.01		0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.01	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		今後も平時での活用も含め認知度を上げ、防災情報メール登録者増加のための取り組みを継続していく。また、現行システムは平成年29年度が更新であり、多くの市民に利用してもらえるサイトとなるように協議していく。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災情報充実強化事業	事業区分	その他
事務事業番号	00007				

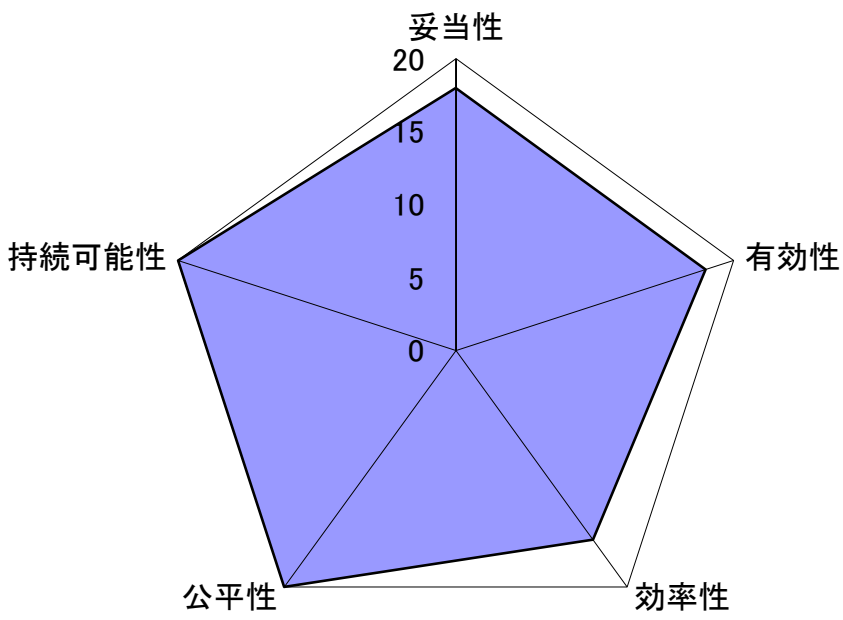
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00007
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>昨今の自然災害を受け、おおさか防災ネット・メール配信登録者数は増加傾向にあり、市民の防災への日頃の意識の向上を伺うことができる。大阪府と府内市町村が共同事業として取り組む運営協議会での合意が必要であるが、事業効率の向上えお図り、多くの市民に利用してもらえるサイトとなるよう進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	災害時シャワーシステム保守点検事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	継続的なシステムの保守点検を実施											
(2) 直近の改正	平成23年度													
(3) 根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	被災者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害時に避難所にシステムを設置しシャワーを提供												
(7) 事業概要	災害時に備え、避難所生活者用に設置するシャワー設備の保守点検を実施。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		121	108	123	108	124							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		951	903	959	944	941							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		951	903	959	944	941							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		951	903	959	944	941								
財源計(C+D)		951	903	959	944	941								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社ヒラカワ										
			②											
			③											
	主な委託内容		シャワーシステムの保守点検											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	シャワーシステムの保守点検の実施	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	実施できたか	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	903.00	944.00	
				一般財源(単位:千円)	903.00	944.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	システムを利用した訓練の実施	目標値	(単位:回)	1.00	1.00
	実績値			(単位:回)	1.00	0.00	
	達成度(%)			100.0	0.0		
	目標値の積算方法	訓練を実施できたか	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	903.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	903.00	0.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	活動内容				目標
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		災害時運用の観点から分析すると、業者との災害時応援協定の締結など実働可能な体制づくりを検討する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	災害時シャワーシステム保守点検事業	事業区分	その他
事務事業番号	00008				

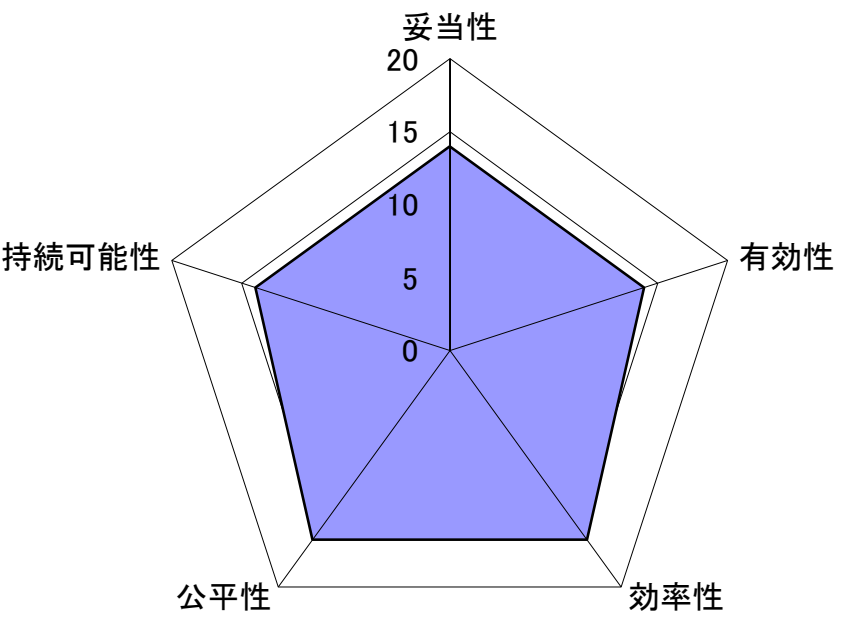
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	危機管理室	事務事業番号	00008
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害対応の優先順位を検証する中で、シャワーシステムの必要性について検証が必要。今後の活用についても、他市の状況分析を進めていく</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	防災訓練事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和40年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 1	細節 10			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	行政、企業、市民					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	平時より関係機関との有機的な連携や災害における地域防災力向上のため、訓練を実施する					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	関係機関との有機的な連携の強化および地域防災力の向上に寄与する						
(7)	事業概要	地域防災総合訓練、吹田市・吹田市自治会連合協議会合同防災訓練など各種訓練の実施						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 9	項 1	目 4	大事業 1	中事業 1	小事業 3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		3,173	2,870	4,539	4,610	5,366
		人件費	職員数	1.20	1.50	1.50	1.50	1.90
			総額(B)	9,960	11,921	12,528	12,528	15,523
		総事業費(A+B)		13,133	14,791	17,067	17,138	20,889
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		13,133	14,791	17,067	17,138	20,889
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,133		14,791	17,067	17,138	20,889		
財源計(C+D)		13,133	14,791	17,067	17,138	20,889		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	吹田市・吹田市自治会連合協議会合同防災訓練						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域防災総合訓練の実施 ※平成26年度は、大阪府・三島地域4市1町合同防災訓練	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14,791.00	17,138.00	
				一般財源(単位:千円)	14,791.00	17,138.00	
	②	指標内容 合同防災訓練の実施(地域連携)	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	
実績値			(単位:回)	1.00	1.00		
達成度(%)			100.0	100.0			
目標値の積算方法	実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14,791.00	17,138.00		
			一般財源(単位:千円)	14,791.00	17,138.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 防災総合訓練参加者数 ※平成26年度は、大阪府・三島地域4市1町合同防災訓練参加者	目標値	(単位:人)	1,500.00	750.00	/
			実績値	(単位:人)	2,000.00	600.00	
			達成度(%)		133.3	80.0	
	目標値の積算方法	参加者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.40	28.56	
				一般財源(単位:千円)	7.40	28.56	
	②	指標内容 合同防災訓練参加者数	目標値	(単位:人)	15,000.00	15,000.00	
実績値			(単位:人)	15,397.00	15,309.00		
達成度(%)			102.6	102.1			
目標値の積算方法	参加者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.96	1.12		
			一般財源(単位:千円)	0.96	1.12		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		今後も既訓練の充実や地域と連携した訓練等を計画的に取り組んでいく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災訓練事業	事業区分	その他
事務事業番号	00009				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	危機管理室	事務事業番号	00009
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域防災計画に定められた地域防災総合訓練とともに、市民と一体となった合同防災訓練を実施することにより、更なる防災力の向上を図り、継続して実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域防災計画推進事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	吹田市地域防災計画の改訂											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	行政、企業、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	防災体制全般の整備を進めるため、防災会議を開催し吹田市地域防災計画を適宜修正する												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市地域防災計画に基づいた防災体制全般の整備や各種マニュアルの策定													
(7)	事業概要	災害対策基本法に基づく吹田市地域防災計画の策定及びその計画に基づく具体的な行動マニュアルの策定等													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	4
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		245	71	602	334	12,411							
		人件費	職員数	人	1.40	1.00	1.00	1.00	2.10						
			総額(B)	千円	11,620	7,947	8,352	8,352	17,157						
		総事業費(A+B)		11,865	8,018	8,954	8,686	29,568							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		11,865	8,018	8,954	8,686	29,568							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			11,865	8,018	8,954	8,686	29,568								
財源計(C+D)		11,865	8,018	8,954	8,686	29,568									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	防災会議の開催	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00		
		達成度(%)		50.0	50.0			
	目標値の積算方法	防災会議の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,018.00	8,686.00	
				一般財源(単位:千円)		8,018.00	8,686.00	
	②	指標内容	吹田市地域防災計画の改訂	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	1.00
実績値				(単位:回)	1.00	0.00		
達成度(%)			100.0	0.0				
目標値の積算方法		改訂作業の実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,018.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		8,018.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	吹田市地域防災計画や避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編・土砂災害編)の活用回数	目標値	(単位:式)	1.00	1.00	1.00
			実績値	(単位:式)	1.00	1.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	警報発表時に避難勧告等の発令に備えて、計画やマニュアルの確認等の実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,018.00	8,686.00	
				一般財源(単位:千円)		8,018.00	8,686.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		阪神淡路大震災の教訓や東日本大震災の経験および上町断層帯を震源とする本市独自の被害想定や南海トラフ巨大地震についての被害想定公表により、市民の防災に対する意識の向上もあり防災・減災に対する行政への要求は人的・物的、財政的にも高まっています。また、毎年のように自然災害が発生し、人的・物的被害が発生しており、今後についても吹田市地域防災計画の見直し等を重ね、本市の防災体制を強化していくとともに関係機関との連携を図る必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	地域防災計画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00010				

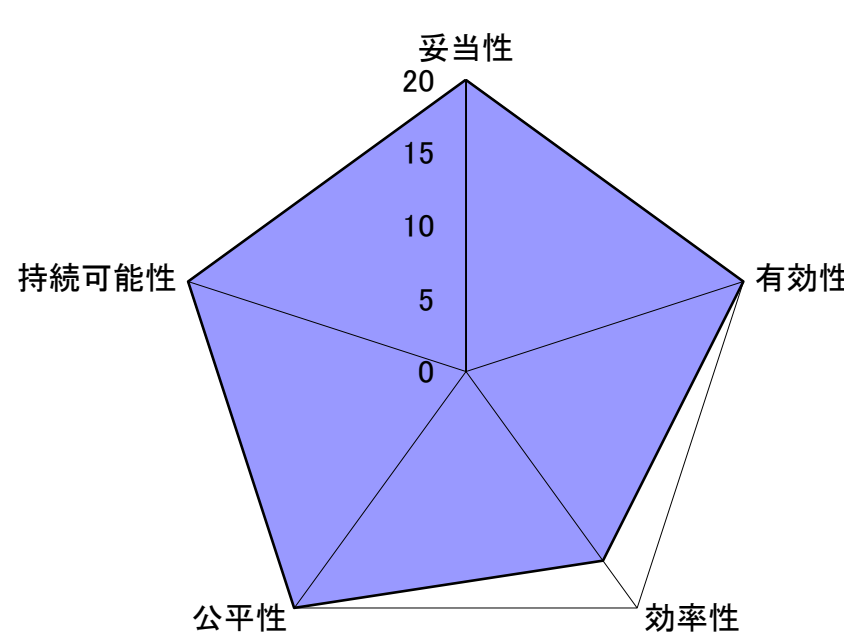
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00010
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>東日本大震災の発生により、本市に甚大な被害をもたらす地震としていた上町断層帯地震への対応のみならず、南海トラフ巨大地震による広域災害への対応が急務となっている。また、避難所運営・備蓄物資のあり方、災害時要援護者対応、地域防災力の向上など、様々な課題に対応するため、今後、事業の効率化を図り市全体で防災体制の整備を努めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度に吹田市地域防災計画の見直しを実施したが、以後の関係法令の改正や「新・大阪府地震防災アクションプラン」の策定などを受け、計画全般に修正を行う必要が生じている。今後、年次的に交付金等を活用し、対応に努める必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	国民保護法関連事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	吹田市国民保護計画の修正											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、吹田市国民保護計画													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	行政、企業、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	国民保護協議会を開催し、吹田市国民保護計画の修正を実施し、計画に基づいた訓練の実施や有事の際の迅速な国民保護体制を確立する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市国民保護計画に基づいた有事の際の住民の安否確認や安全確保													
(7)	事業概要	法に基づき住民の避難、避難住民等の救援、武力攻撃、災害への対処など市が行う措置についての具体的な計画を策定し、訓練等を通じて住民と一体となった体制を整備する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	5
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		80	56	718	548	576							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	830	795	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		910	851	2,389	2,219	2,210							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		910	851	2,389	2,219	2,210							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			910	851	2,389	2,219	2,210								
財源計(C+D)		910	851	2,389	2,219	2,210									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 国民保護協議会の開催	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	0.00
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	国民保護協議会の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 国民保護事象に対応するため国民保護計画に基づく訓練の実施	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	0.00
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	訓練の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	851.00	2,219.00	
				一般財源(単位:千円)	851.00	2,219.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		今後も引き続き、国及び府からの情報並びに国民保護事象に注視し、訓練への参加や計画の周知を進めていく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	国民保護法関連事業	事業区分	その他
事務事業番号	00011				

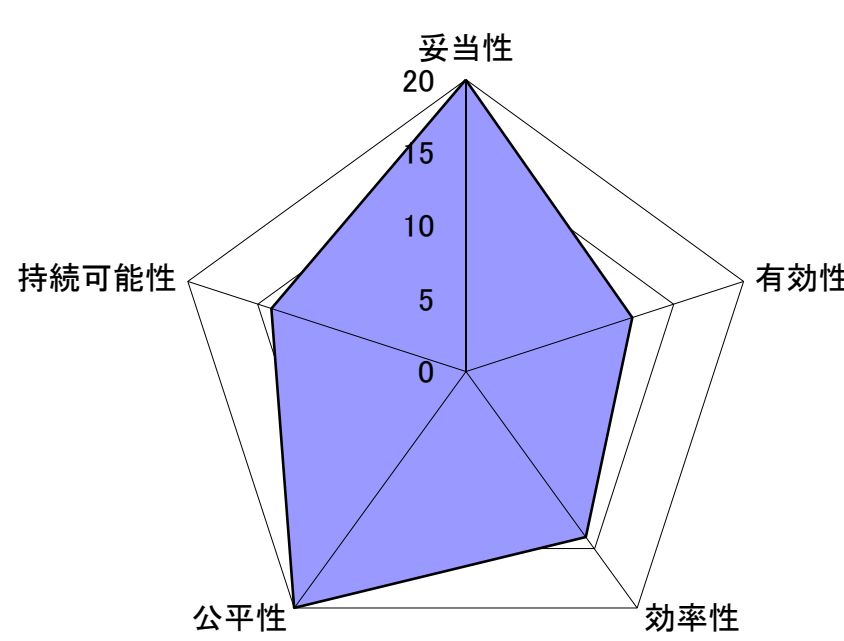
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00011
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成25年度に国民保護協議会を開催し、国民保護計画内容の変更を実施。今後についても引き続き、国及び府の動向に沿って、計画の見直し及び訓練の実施を進めていく。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

災害対策基本法の改正に伴う国民保護計画の見直し、及び行動マニュアルの作成に取り組む必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	防災関連システム運営管理事業				
担当部署	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和63年度	改正 内容	吹田市防災行政無線屋外拡声局の増設											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	行政、企業、市民											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	市防災行政無線、防災気象情報支援システム、土砂災害システムなど防災関連システムについて、保守管理や必要に応じシステムの改修を行い、災害発生時に支障なく作動させ、市民へ確実かつ必要な情報の伝達体制を構築												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害時における避難勧告等の判断やその広報など、災害の種別に応じた情報提供を迅速かつ的確に行うことにより、市民の安心安全を図ることができる												
(7) 事業概要	市防災行政無線、府防災行政無線、土砂災害システム、地震計システム、その他防災体制システムが確実に作動するための保守管理を行い、システムの老朽化や故障に対する修繕など、防災関連システムを維持・管理していくための事業													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	6
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		16,292	16,359	16,359	53,675	53,456							
	人件費	職員数	人	0.20	0.50	0.50	0.50							
		総額(B)	千円	1,660	3,974	4,176	4,176							
	総事業費(A+B)		17,952	20,333	20,535	57,851	57,541							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		17,952	20,333	20,535	57,851	57,541						
		地方債		0	0	0	38,400							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		17,952	20,333	20,535	19,451	20,041							
財源計(C+D)		17,952	20,333	20,535	57,851	57,541								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 東芝通信インフラシステムズ株式会社											
			② 三菱電機株式会社											
			主な委託内容	③										
				各種システムの保守管理										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 各種システム等の維持管理を行っており、定量的な指標の算出が困難	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 各種システム等の維持管理を行っており、定量的な指標の算出が困難	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	防災関連システムの適正な作動に向けた保守管理・改修の実施		目標	防災関連システム、地震計システム等の保守管理	
	②	成果内容	毎年、システムの保守管理を行い、国、府の災害対応に見合ったシステムの改修を行う。		達成状況	防災関連システム、地震計システム等の保守点検実施、軽微な修繕対応済み、土砂災害システム改修済み	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		災害時における市民への避難勧告等の発令や広報など、災害の種別に応じた情報提供を迅速かつ的確に行うため、防災関連システムの運営管理事業は必要である。地域の方への情報伝達手段の1つである市防災無線の屋外拡声局は、現状、市内全域を音声でのカバーができていないため拡充あるいは代替手段の検討を進めていく。また、地震計システム、防災気象情報支援システムなどは市内の防災体制を決定する場合に必要であり、システムの更新を含め社会情勢にあったシステムとなるよう検討する必要がある。今後、地域の方への情報伝達手段の機能向上を図ることで、地域の安心安全の確保及び迅速な避難を促す。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災関連システム運営管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00012				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00012
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>防災関連システムを災害発生時に支障なく作動させることは、市民に確実かつ迅速に必要な情報を提供するために必要不可欠であり、優先順位の高い事業である。システム構築や増設を行うための費用や、老朽化したシステムの更新など、今後費用が必要になるなかで、社会情勢や市民ニーズにあったシステムになるよう検討が必要。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

<p>平成26年度に大阪府防災行政無線の再整備済</p>

事務事業評価調書

事務事業名	災害ボランティア育成事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市地域防災計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり											
		節	1												
		細節	10												
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市退職職員												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市内在住の退職職員に退職直前に所属していた部局の業務を補完してもらう												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害初期の職員が不足する中、退職職員の力を借りて災害対策本部及び本来業務の円滑化を図ることができる。													
(7)	事業概要	吹田市職員として培った知識、経験を役立ててもらい吹田市の災害対応等を円滑に進める。 また災害専門ボランティアには災害時の対応が必要となるためボランティア保険に加入。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		36	33	36	32	36							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		866	828	872	868	853							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		866	828	872	868	853							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			866	828	872	868	853								
財源計(C+D)		866	828	872	868	853									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 災害専門ボランティアの養成	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 新任の災害専門ボランティアの説明会	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	828.00	868.00		
			一般財源(単位:千円)	828.00	868.00		
	②	指標内容 災害専門ボランティアの能力の向上	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	
実績値			(単位:回)	1.00	1.00		
達成度(%)			100.0	100.0			
目標値の積算方法 1回/年を目途に訓練、研修の開催を目標値として設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	828.00	868.00			
		一般財源(単位:千円)	828.00	868.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 災害専門ボランティアの登録	目標値	(単位:人)	60.00	60.00	/
			実績値	(単位:人)	54.00	54.00	
			達成度(%)		90.0	90.0	
	目標値の積算方法 災害専門ボランティアの登録数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	15.33	16.07		
			一般財源(単位:千円)	15.33	16.07		
	②	指標内容 連絡訓練参加人数	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法 ボランティア名簿登載者全員参加	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		職員数が減少する中、災害時に経験豊富なOB職員の力は必要である。ただし、幸いにも災害の場に遭遇していないので、関わり方等は今後の課題である。また、災害時の初動、避難所開設・運営に関わる体制整備を図るため、市内在住、退職時の職種を基本に配置しているが、退職後就労する人も多く、新規登録が少ない。限られた人員を活用し適正に配置していく上で、今後、各部署の登録率を整理し、更新制度や市外居住者の登録も可能かどうか検討する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	災害ボランティア育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00013				

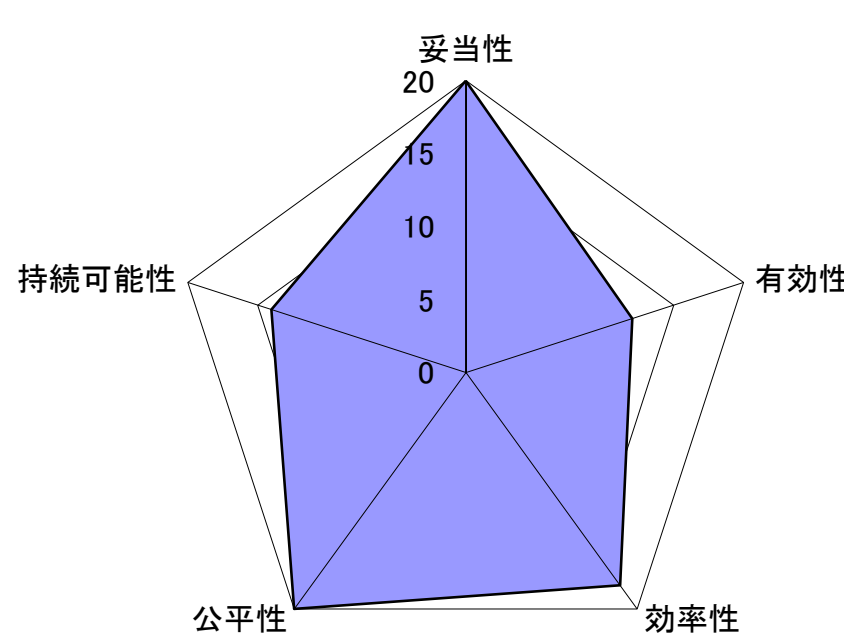
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00013
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays the following scores for each dimension:</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当性 (Appropriateness): 20 有効性 (Effectiveness): 15 効率性 (Efficiency): 10 公平性 (Fairness): 10 持続可能性 (Sustainability): 10 		
(3)現状分析	<p>職員数が減少する中、災害時に経験豊富なOB職員の助けは必要である。一方、退職時に再任用にて職場で活躍される職員が増えており、今後、人員の確保など課題整理が必要。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	防災用資機材給付事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正 内容	給付資機材の上限を廃止し、世帯数の多い自主防災組織にも、予算の範囲以内において世帯数に見合った資機材の給付を実施											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	吹田市自主防災用資機材給付実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	単一自治会等の自主防災組織												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域における初期防災力の向上												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自主防災組織の結成促進による地域防災力の向上													
(7)	事業概要	地域における自主防災力向上を図るため、単一自治会等で結成された自主防災組織へ防災用資機材を給付													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2	小事業	3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,206	1,009	1,207	1,134	1,385							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		2,866	2,599	2,878	2,805	3,019							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		2,866	2,598	2,878	2,805	3,019						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			2,866	2,598	2,878	2,805	3,019								
財源計(C+D)		2,866	2,598	2,878	2,805	3,019									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	自主防災組織の結成数	目標値	(単位:団体)	15.00	15.00	15.00
			実績値	(単位:団体)	6.00	5.00		
		達成度(%)		40.0	33.3			
	目標値の積算方法	過去の結成数を考慮し、目標値を設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		433.17	561.00	561.00
				一般財源(単位:千円)		433.17	561.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	自主防災組織の結成率 給付団体数累計/560自治会	目標値	(単位:%)	100.00	100.00
	実績値			(単位:%)	44.00	46.00		
	達成度(%)		44.0	46.0				
	目標値の積算方法	全ての自治会等に自主防災組織の結成を進めていくため100%を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		59.07	60.98	60.98
				一般財源(単位:千円)		59.07	60.98	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		自主防災組織の結成促進とともに、地域における防災力の向上を図る必要があるため、今後も事業を継続する必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災用資機材給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00014				

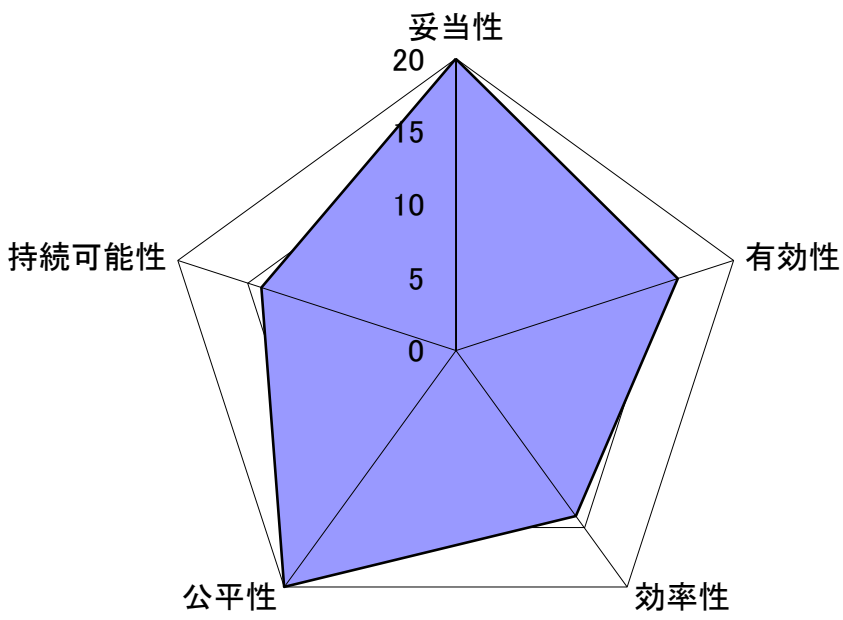
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00014
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業の効果もあって、連合自治会から市と合同防災訓練の提案があり、取り組むなど地域の防災力、防災意識は向上している。また、実際に災害が発生した場合を想定、自主防災組織が防災用資機材を活用し訓練に取り組んでいる。自らの生命や財産を守る、自助が期待され、費用に見合った効果が得られている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	非常用物資備蓄事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	吹田市立サッカースタジアム内の倉庫へ移送・運搬											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	行政、企業、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市地域防災計画及び大阪府地域防災計画に基づく備蓄物資の確保および個人や家庭・地域での備蓄の推進												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	避難所生活者用の備蓄数の確保および地域防災力の向上													
(7)	事業概要	大規模災害発生時、被災者に対して食糧などの物資を支給し救援するため、非常用物資の備蓄を行う。また、非常用物資の中で消費期限切れとなった物資については、買い替えを行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2	小事業	4
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,947	1,760	1,846	2,401	2,150							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		2,777	2,555	2,682	3,237	2,967							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,777	2,555	2,682	3,237	2,967							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			2,777	2,555	2,682	3,237	2,967								
財源計(C+D)		2,777	2,555	2,682	3,237	2,967									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 備蓄物資の管理	目標値	(単位:式)	1.00	1.00	1.00
			実績値	(単位:式)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
		目標値の積算方法 備蓄物資の購入、管理ができていますか	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,555.00	3,237.00	
	一般財源(単位:千円)			2,555.00	3,237.00		
	②	指標内容 市の備蓄を含む防災体制の状況や個人や家庭・地域でできる備蓄等の防災対策の必要性について啓発に努めることができたか	目標値	(単位:回)	64.00	64.00	64.00
			実績値	(単位:回)	53.00	51.00	
			達成度(%)		82.8	79.7	
		目標値の積算方法 防災講座の実施回数(平成23年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	48.21	63.47	
	一般財源(単位:千円)			48.21	63.47		
(2) 成果指標	①	指標内容 吹田市地域防災計画、大阪府地域防災計画による被害想定人数の一食分	目標値	(単位:食)	63,600.00	63,600.00	0.00
			実績値	(単位:食)	55,142.00	73,922.00	
			達成度(%)		86.7	116.2	
		目標値の積算方法 吹田市地域防災計画、大阪府地域防災計画による被害想定人数の一食分	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.05	0.04	
	一般財源(単位:千円)			0.05	0.04		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市地域防災計画でも定められた目標値の非常用物資を揃え、大規模災害時に被災者を救援するため、今後も継続する必要がある。また、毎年度消費期限切れによる非常用物資の買い替えを効率よく行うことにより、目標数を常に備蓄しており、費用に見合う効果が得られている。今後、大阪府域救援物資対策協議会にて今後の備蓄方針等が示されており、備蓄計画に基いた救援物資の品目や量の拡充、荷解きスペースの確保等を実施する方向性である。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	非常用物資備蓄事業	事業区分	その他
事務事業番号	00015				

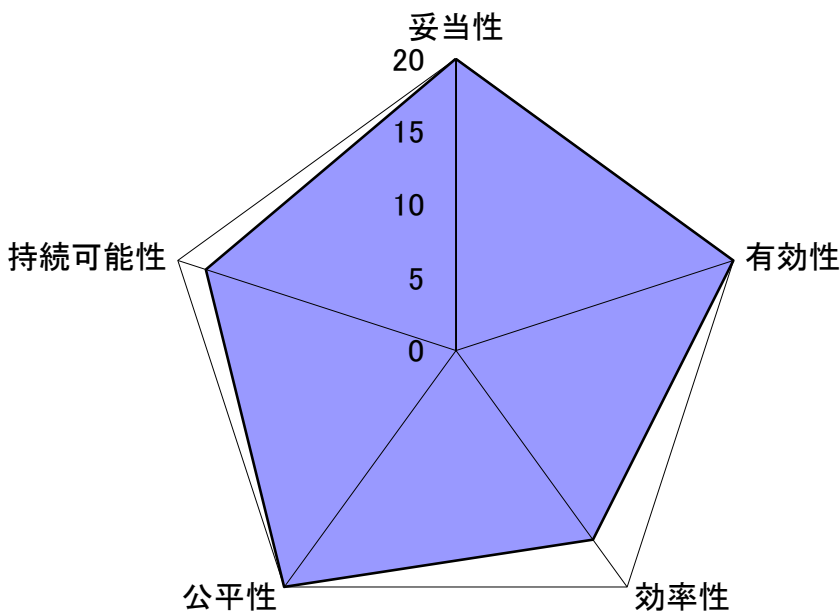
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00015
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>阪神淡路大震災や東日本大震災の経験により、市民の防災意識が高まっているなかで、避難所における非常用物資の品目・数量などを被害想定を参考にしながら見直していく必要があることから、優先して事業を実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年3月策定の「新・大阪府地震防災アクションプラン」において、重点アクションである今後の備蓄方針について、府と市町村で大阪府域救援物資対策協議会を設置し協議を進め、平成27年11月「大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針について(最終案)」として、最終的な検討結果をとりまとめた。今後の備蓄方針については、次の大阪府地域防災計画の改正に反映予定。

事務事業評価調書

事務事業名	災害時救急医療器具等整備事業等補助事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和56年度	改正内容	組織機構改正による所要の見直し											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市災害時救急医療器具等整備事業等補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市医師会												
		目標(どういう状態にしたいのか)	災害時に地域の救急医療を迅速かつ確実に実施できる体制の確保。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	迅速かつ確実な医療体制を確保することにより、市民の生命を守ることができる。													
(7)	事業概要	災害時の救急医療に必要な医療器具等の整備事業に対して、吹田市医師会へ補助を行い、地域防災力の向上を図る。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2	小事業	5
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		604	542	604	604	604							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		1,434	1,337	1,440	1,440	1,421							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		1,434	1,337	1,440	1,440	1,421							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	1,434		1,337	1,440	1,440	1,421									
財源計(C+D)		1,434	1,337	1,440	1,440	1,421									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	一般社団法人吹田市医師会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 救急医療器具等の整備に寄与する補助金の申請状況	目標値	(単位:式)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:式)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 申請件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,337.00	1,440.00		
			一般財源(単位:千円)	1,337.00	1,440.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 災害時の救急医療を担う医院の増減	目標値	(単位:医院)	360.00	360.00	/
			実績値	(単位:医院)	283.00	287.00	
			達成度(%)		78.6	79.7	
	目標値の積算方法 災害時に設置される医療救護所1か所あたり概ね60医院(6か所×60医院=360医院)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.72	5.02		
			一般財源(単位:千円)	4.72	5.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		今後についても引き続き、市と医師会との連携で、応急医療体制の充実や訓練等の取組を進めていく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	災害時救急医療器具等整備事業等補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00016				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00016
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害時の救急医療に必要な器具等を、医師会により選定し、確保することにより、災害時の応急医療体制の整備に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	避難所等整備事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	一時避難地、広域避難地、避難所												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	避難所等の明確な明示の維持												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	避難所等の明示を行うことで災害時に円滑な誘導を促す													
(7)	事業概要	避難所看板等、表示施設の維持補修													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2	小事業	6
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,377	3,266	679	313	641							
		人件費	職員数	人	0.30	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	2,490	1,590	836	836	817						
		総事業費(A+B)		6,867	4,856	1,515	1,149	1,458							
		特定財源(C)		2,000	2,000	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	2,000	2,000	0	0	0							
		市負担(D)		4,867	2,855	1,515	1,149	1,458							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	4,867		2,855	1,515	1,149	1,458									
財源計(C+D)		6,867	4,855	1,515	1,149	1,458									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社オダ産業										
				②											
				③											
		主な委託内容		避難所看板の維持補修											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 避難地、避難所の看板や小中学校に配備しているLED照明の適切な維持管理	目標値	(単位:式)	1.00	1.00	1.00	
			実績値	(単位:式)	1.00	1.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	点検や修理ができたか	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,856.00	1,149.00	
				一般財源(単位:千円)		2,856.00	1,149.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 地震や風水害などに対する対策の満足度	目標値	(単位:点)	60.00	0.00	60.00
	実績値			(単位:点)	51.80	0.00		
	達成度(%)			86.3	0.0			
	目標値の積算方法	吹田市市民意識調査報告書 市民の6割が満足していることを目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		93.75	0.00	
				一般財源(単位:千円)		55.14	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		災害対策基本法の改正に伴い、土砂災害、地震等災害の種類に応じた避難所を指定し、表示等によって周辺住民に認識していただく必要があるが、現在は表示等の変更が追いついていない。また、配備しているLEDについても夜間における視認性などに課題があり、新たな製品に切り替えていく努力も必要である。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	避難所等整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00017				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00017
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top, 20), 有効性 (right, 15), 効率性 (bottom-right, 10), 公平性 (bottom-left, 5), and 持続可能性 (left, 5). The scale ranges from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>避難所看板、LED照明などの管理は、主に施設管理者等の通報によるほか、防災訓練時等にて定期的な確認を行っており適切な表示等が確保できるよう努めている。また、避難所における初動対応に必要な装備の配置を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年に地域による初期救助・救援活動用の資機材を全公民館の自主防災組織に配布した。
 また、日本工業規格(以下「JIS」という。)において、「災害種別避難誘導標識システム(JISZ9098)」が平成28年3月22日付で制定・改正され、公示された。これを受け、避難場所等の案内板等の整備及び更新を進める必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	防災ハンドブックの作成・改訂事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正内容	全面改訂し、全戸配布を実施											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内全世帯												
		目標(どういう状態にしたいのか)	災害に備えての準備と対処方法を家族や地域で話し合ってもらい防災意識の高揚を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	被害を最小限に抑える。													
(7)	事業概要	災害に備えての準備と対処方法を市民に知らせ、家族や地域で話し合ってもらうことにより、協力関係を築き被害を最小限に抑え、より多くの市民に実効性のあるものとするために、日本語だけでなく多言語、点字等で防災ハンドブックを作成・発行している。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2	小事業	7
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,273	3,272	3,273	3,272	3,786							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		4,933	4,862	4,944	4,943	5,420							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,933	4,861	4,944	4,943	5,420							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,933	4,861	4,944	4,943	5,420								
財源計(C+D)		4,933	4,861	4,944	4,943	5,420									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社東京法規出版										
				②											
				③											
		主な委託内容		防災ハンドブックの作成委託											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 防災ハンドブックを活用した防災講座を実施することで啓発に努めることができたか。	目標値	(単位:回)	64.00	64.00	64.00	
			実績値	(単位:回)	53.00	51.00		
			達成度(%)		82.8	79.7		
	目標値の積算方法	防災講座の実施回数(平成23年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		91.74	96.92	
				一般財源(単位:千円)		91.74	96.92	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 最新の内容に改訂できているか	目標値	(単位:式)	1.00	1.00	1.00	
			実績値	(単位:式)	1.00	1.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	内容は十分か	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,862.00	4,943.00	
				一般財源(単位:千円)		4,862.00	4,943.00	
	②	指標内容 地震や風水害などに対する満足度		目標値	(単位:点)	60.00	60.00	0.00
				実績値	(単位:点)	51.80	0.00	
				達成度(%)		86.3	0.0	
目標値の積算方法		吹田市市民意識調査報告書 市民の6割が満足していることを目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		93.86	0.00	
				一般財源(単位:千円)		93.86	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		減災対策や災害発生時の自主的な避難行動など災害時の対応策に欠かせない事業であり、防災講座等機会をとらえて周知、啓発に努めている。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災ハンドブックの作成・改訂事業	事業区分	その他
事務事業番号	00018				

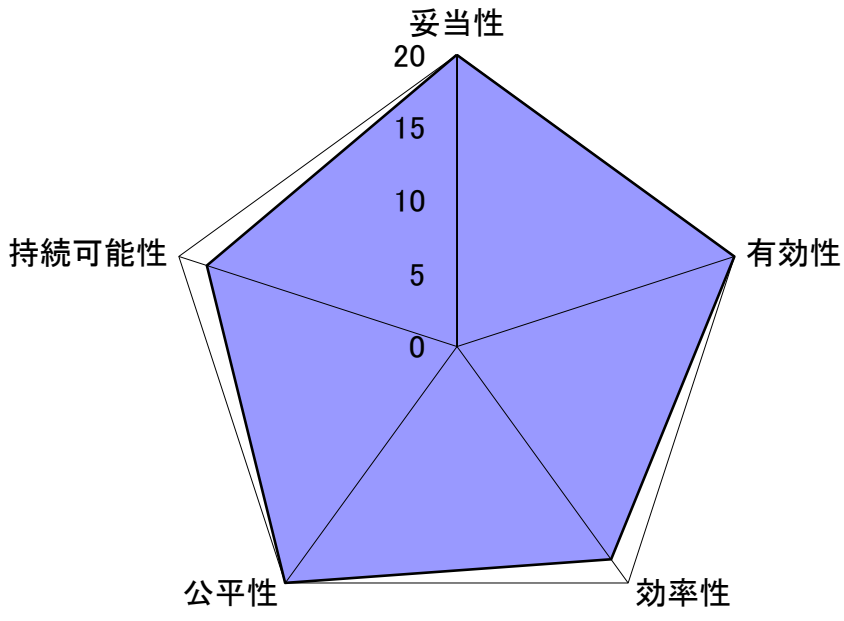
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00018
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民に対し、吹田市でどのような災害のリスクがあり、どのような備えをするか防災ハンドブックを活用しての防災講座にて啓発している。災害時に被害を最小限に抑え、日頃からの防災意識高揚のためにも、継続して取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	防災リーダー育成事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 1	細節 10			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	地域防災の担い手となる市民					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域防災リーダーの育成					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域防災力の向上						
(7)	事業概要	地域防災力の向上を図るため、地域防災の担い手として地域防災リーダーを育成する。併せて、地域防災リーダーに対する継続的な講習を行う。						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		0	0	0	0	50
		人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
			総額(B)	0	0	0	0	818
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	868
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	50
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	0		0	0	0	50		
財源計(C+D)		0	0	0	0	50		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 リーダー育成講習会の開催数	目標値	(単位:日)	1.00	1.00	/	
			実績値	(単位:日)	1.00	1.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	リーダー育成講習会の開催数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 リーダー研修会(フォローアップ)の開催数	目標値	(単位:日)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:日)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	リーダー研修会(フォローアップ)の開催数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 連合自治会単位での防災リーダー育成人数	目標値	(単位:人)	170.00	170.00	/	
			実績値	(単位:人)	135.00	166.00		
			達成度(%)		79.4	97.6		
	目標値の積算方法	各連合自治会で5人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 参加者数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:人)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	30人の参加者を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地域防災の担い手である市民一人ひとりの防災意識の向上が市全体の防災力の向上につながることから、今後も継続して実施していく。また、受講者には修了証の交付以外にもフォローアップの講座も実施し、必要な用品の貸与等を検討する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災リーダー育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01269				

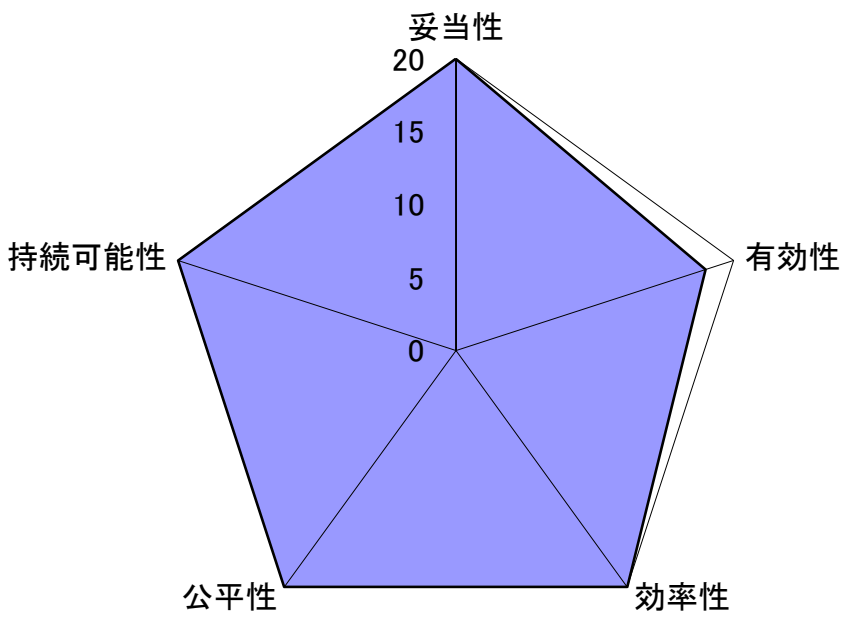
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	危機管理室	事務事業番号	01269
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年度から開始した事業であり、現在166名の防災リーダーを育成しているが、今後はリーダーの育成とともに、フォローアップ等も行い、リーダーのレベルアップを図り、地域防災力向上に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	防災体制推進事業				
担当部名	総務部	室課名	危機管理室	室課長名	室長 竹嶋 秀人

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容	吹田市災害対策業務従事職員被服等貸与基準											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法、吹田市地域防災計画、吹田市災害対策業務従事職員被服等貸与基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	災害対応従事職員												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	災害対応業務の執行に必要な被服を配備し、職員の防災業務能率の向上												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	新任部長級職員及び新規緊急防災要員の被服を確保した。												
(7)	事業概要	地震発生時や発生頻度の高い風水害時に実際の現場作業に従事する避難誘導者等の要員や緊急防災要員等の装備を整え、いつ起こるか分からない災害に対し、即応できる装備の準備等を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	4	大 事 業	1	中 事 業	1	小 事 業	9
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	195	192	409							
		人件費	職員数	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20							
			人												
		総額(B)		0	0	1,671	1,608	1,634							
		総事業費(A+B)		0	0	1,866	1,800	2,043							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内 訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		0	0	195	192	2,043							
		(内 訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	0		0	195	192	2,043									
財源計(C+D)		0	0	195	192	2,043									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 被服の貸与であり、定量的な指標の算出が困難	目標値	(単位:式)	0.00	1.00	/
			実績値	(単位:式)	0.00	1.00	
		達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法 なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	192.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	192.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法 なし		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 被服の貸与であり、定量的な指標の算出が困難	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00
	実績値			(単位:なし)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法 なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
③	活動内容	被服等の購入、管理の実施。			目標	新規緊急防災要員などに基準に基づく被服の配備	
		④	成果内容	毎年、吹田市災害対策業務従事職員被服等貸与基準に基づき被服等の配備を実施。			達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		地震時や発生頻度の高い風水害時に実際の現場作業に従事する避難者誘導等の要員や災害対策本部員・緊急防災要員等の装備を進める。今後は「吹田市地域防災計画」に基づく「各部行動計画」と照らし、装備計画に基づき進めていく。	
	評価の説明						

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災体制推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01392				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)
②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5			点
③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5			点
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3			点
(3) 効率性 (20点)	18			①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理
②サービスの水準は適正ですか。 内部管理				点
③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理				点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理				点
(5) 持続可能性 (20点)	16			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	危機管理室	事務事業番号	01392
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害対応や防災訓練時など、職員の活動の能率向上に役立っている。今後は、活動が市民の目線からも分るよう視認性の良いベストなど拡充が必要。また、各担当部で配備計画や保管場所及び管理方法を検討してもらう。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)